



# 幻 想 図

## と金 日本画展

T O K I N O

私が皆様に発表する作品は、幼少期から大好きだった妖怪や幻獣、耳にした怖い話、都市伝説などをルーツに制作したものです。

しかしホラー的なものとして、観る側を怖がらせるものを描きたい訳ではありません。

例えば幼少期、海や山河に身を置いたときに得た感動や、その裏で感じた自分の無力さ。

または遊び疲れた逢魔が刻、深く変化していく森の奥の奥の色。凝視することを拒みたくなるような海の闇。それは単純な恐怖ではなく、畏敬の念に近い感覚だったと思います。

私たちの日常生活のすぐそばにある非日常に、少し踏み込んだ言い方をすると、この世の裏側を垣間見るような得体のしれない力に、子供心は不思議と魅かれたものでした。それらは大人になり、自然に身を置くことの少なくなった現在でも姿形を変えて私の心には存在します。

どうにもならない理不尽な悪意。目を背けることのできない、または目を背けることしかできない賊心、組織を政治利用する不毛な野心や愚行。

民草目線で見ると、人々に気配を消し忍び寄る罪過。国民すべてを欺く巨悪などもその類では無いでしょうか。それらの言葉にし難く、声にすることを憚られる何かを、芸術家たちは視聴覚に訴える形として表現してきました。

その象徴として、画家は妖怪や幻獣、霊獣や都市伝説などを生み出し、滞留した世の中を風刺し、時に笑い飛ばすことにより、人々が日々抱える様々な衝動を上手に消化する役目を果たしてきたのです。

私も芸術家である以上、先人達からそのパトンを受け継ぎ、時にはシリアスに、時にはユーモアを交えながら、画室から世間と対話していければと思っています。

マイペースな創作活動となりますが、応援、宜しくお願い致します。

- 1 鎮守 75x39cm
- 2 子夜 60x35cm
- 3 戯れ 53x33.7cm
- 4 深更 48x60.8cm
- 5 吃驚 55x40cm
- 6 神の手 60.8x48cm



2



3



4



5



6



**蔵 Gallery 蔵**

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-6 御茶ノ水ソラシティ B1F  
03-3525-4190  
<http://ocha-navi.solacity.jp/gallery/>



JR「御茶ノ水」駅徒歩3分 / 東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅徒歩2分 (B2直結出口)  
東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅徒歩6分 (出口1) / 都営地下鉄都営新宿線「小川町」駅徒歩6分 / JR「秋葉原」駅徒歩9分

と金堂 ギャラリー蔵